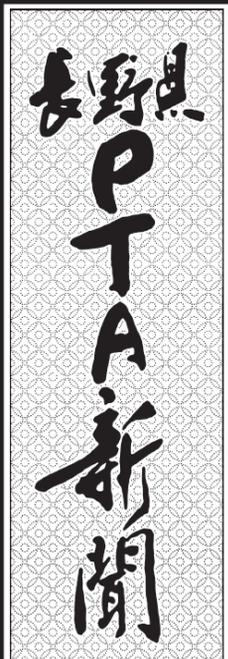


# 長野県PTA連合会 PTA大改革

## めざせ！信州PTA チーム



### 大島 対談 千野 新会長 前会長

長野県PTA連合会は、会則の全面改正や組織改革などを実施した千野前会長から大島新会長に引き継がれた。そのお二人に今年度PTA会員に伝えたいことを語り合っていた。

なぜ改革をおこなったのか

千野 ①時代の流れや会員の満足感と波及効果を考え、事業を見つめ直す時期にきていた。②集会などの移動に時間と交通費が多かる中、少子化が進み、従来通りの運営が難しくなった。③郡市PTAと県PTAの役割を整理して、行事の重複や不足を少なくしていくことが求められた。④大島 問題の指摘は千野前会長と同じ。会員のニーズに合う形にできなかった。会議の回数に限られる中で、協議する内容も限られていた。最適化していきたいと考えた。

何を、どのように変えたのか

千野 ①研修会や会議の合理化と差別化。②発行物の統合と見直し。③HPの刷新及びSNSの活用。④PTA憲章の改定。⑤会則と細則の改正。⑥研究会の休止。⑦分担金の引き下げなど。



新しいPTA憲章をベースに子育てや県Pをみんなで主体的に考えていきたい。そのために、学校・教育のことを先生方から学び、共通理解を深めることは必要だ。この先10年どうやって

PTAを運営していくか、子どもたちをどう育ていくか、事業と財政のバランスをどうするかなどを、長野県らしさをイメージしながら、平成30年度に迎えるPTA結成70周年に向けて信州モデルを示していきたい。

信州モデルとは

大島 先生と保護者、県Pと郡市P、単Pと会員など、それぞれの役割や財政とのからみなどが明確化されていない。足りないところと重複するところを整理して、長野県全体を俯瞰し判断できる一枚の絵を描いていきたい。目標は全国が長野県を模倣するようなモデルを作ること。

千野 どの地方PTAにも学ばべきところがある。情報交換しながら真似し合うことで地方PTAはお互いに向上していく。信州モデルが一石を投じることに期待したい。

長野県PTAが中心となつて果たす役割は何か

大島 郡市によって二

発行 長野県PTA連合会  
長野市旭町1098信濃教育会館内  
TEL 026-235-4361  
発行者/大島 修  
編集者/宮坂ゆかり

ホームページ  
<http://www.pta-naganoken.net>

E-mail  
office@pta-naganoken.net

Facebook  
  
<http://sites.google.com/view/naganopta-facebook/>

平成29年度県P定期総会開催………2  
PTA広報紙コンクール結果………2  
委員会活動………3  
単位PTA訪問………4

ズが違ふ。まずは地区協議会で検討して、できないところを県Pに相談し、やるやらないを含め、方針を決めていただく。

信州型コミュニケーション

大島新会長は、今年度のスローガンを「チーム信州PTA!『学びと連携』により、信州モデルのPTAを創造しよう!」とした。「保護者と先生、PT

一言で 千野 クラスで、家庭で、みんなが集まって話し合います。

大島 PTAに興味を持つていただきたい。

大島

対談を終えて

私たちが保護者は、子どもたちの今の課題を先生と共有し、解決策を探るために最も身近な学級PTAに参加することが大切であると感じた。

4人家族の我が家の米の消費量は、一日平均5合(750g)程度です。一人当たりになると、187gということになります。全国平均は119gで、だいたい三食の内2回はご飯(米)を食べている計算になります。世界に目を向けると、東南アジア諸国が上位を占め、バングラデシュでは一人当たりの消費量は473gもありますが、一方、米が主食でありながら日本は50位に甘んじています。

また、家庭環境や生活スタイルの変化により、いかに朝食を摂らせるかが、今や日本の課題になっていきます。生活サイクルが夜中にずれ込み、朝起きても朝食が準備できていないとか、ゲームやスマホなどをやっている理由で、朝食抜きで登校する子どもが増えていると聞きます。力が出るご飯(米)を是非、食べてほしいと思います。

長野県は、長寿日本一で知られています。米をはじめ、野菜、果物、キノコ等、豊かな農産物に恵まれている、そのおかげかと思えます。実は、長野県はゴミの排出量が日本一少ない県でもあります。三〇一〇運動の結果でしょう。

いずれにしても、しっかりとご飯を食べる、食べさせてやる。これが子育ての基本ではないでしょうか。

### 信州育み宣言

未来を担う子どもたちの内なる力を信じ 社会でたくましく生き抜く力を育みます

子どもと一緒に様々な体験を 私たちの 信州育み宣言

未来を担う子どもたちのため、この3つの機会を大切に、保護者と教職員が互いに手を携えながら活動していきましょう。

信州育み宣言

保護者と教職員による 子どもの未来づくり5か条

- 第1条 学ぼう! 子どもと自身の成長のために
- 第2条 築こう! 家庭と学校の信頼関係を
- 第3条 見守ろう! 子どもの健やかな成長を
- 第4条 繋げよう! 家庭・学校・地域を太い絆で
- 第5条 伝えよう! 郷土の文化と美しい自然を

### 野尻湖ナウマンゾウ博物館

<http://nojiriko-museum.com>

野尻湖で50年以上続けられている発掘の成果を中心に、約5万年前の昔から現在に至る野尻湖周辺のヒトと自然を研究・展示。実物大のナウマンゾウとオツノジカの復元像や、豊富な骨器・石器の展示、実際の化石にふれることもできる。また、石器づくりなどの様々な体験講座も実施。

※2017年9月4日より工事のため休館。2018年3月20日リニューアル予定。

時間：午前9時～午後5時  
料金：一般500円 小中学生300円  
上水内郡信濃町大字野尻 287-5  
TEL 026-258-2090

### 黒姫童話館&童話の森

<http://douwakan.com>

『モモ』『ネバーエンディングストーリー』の作者ミヒヤエル・エンデと松谷みよ子の資料を中心に、信州の民話や児童文学を大人も子どもも親しみやすく学べる。週末を中心に、読み聞かせやコンサートなどのイベントも開催。併設のギャラリーでは絵本や童話に関する企画展も開催。

時間：午前9時～午後5時  
料金：一般800円 小中学生500円  
上水内郡信濃町大字野尻 3807-30  
TEL 026-255-2250

### 一茶記念館

<http://www.issakinenkan.com>

「雀の子そこのけそこのけ御馬がとおる」「やせ蛙まけるな一茶これにあり」など、親しみやすい俳句で知られる小林一茶の生涯と文学を、多数の貴重な作品から振り返ることができます。地元の民具を多数集めた民俗資料棟も併設。付近には一茶一族の墓、國史跡一茶旧宅も。

時間：午前9時～午後5時  
料金：一般500円 小中学生300円  
上水内郡信濃町大字柏原 2437-2  
TEL 026-255-3741

# 平成29年度長野県PTA連合会 定期総会

## スローガン チーム信州PTA～「学びと連携」により、信州モデルのPTAを創造しよう!～

### 更に強い結束を目指して 千野前長野県PTA会長 社会とのつながり大切に 菅沼教育次長 子どもの健やかな成長を 北田事務局長

長野県PTA連合会は、5月26日、信濃教育会館において、定期総会を開催した。県内16郡市代議員出席のもと、会長に大島修氏が選任され、新役員と共に更なるPTA活動の活性化を目指し、新たなスタートを切った。



熱心に協議する代議員

冒頭の挨拶で千野貴文前会長は「PTAの本質を見つめ、少子化など社会の変化に対応すべく改革を目指した。単位PTAの声を集めて、PTAの活動や教育の発展に向けて必要な事をしっかりと働きかけ、それぞれの役割を意識しながら質の向上に努めてきた。また、PTAにおいて、みんながしっかりと集まり、話し合い学び合い汗をかくことを大切にできた。子どもを育むための信頼関係を築いていく原点がそこにあると私たちは信じている。家庭や地域のふれあいを大切にしよう」と昨年PTA連合会は「チーム信州PTA」として、いっそう強い結束を目指して」と語った。

来賓祝辞では、菅沼尚県教育次長が「学校は社会との接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを持ちながら学ぶことができる。開かれた環境となることが不可欠である。学校教育の核となる教育課程も、社会とのつながりを大切に、学校を開き、その目指すところを社会と共有し、連携しながら取り組むことが必要。信州型コミュニケーションの活動はまさに社会に開かれた方向性に着手したものである。子どもたちが、様々な方々と関わりながら多くの体験を積み重ね、自ら考え行動できる力をつけていくことが必要だ」と述べられた。

続いて、北田愛治信濃教育会事務局長は、自身の教員時代に会った子どものエピソードから「家庭でしかできない教育、担任でしかできない教育、子どもを育てていく姿勢が大切だ。PTA会員の皆様がお互いに協力や工夫をして自分たちができることを実践し、学校や地域を盛り上げ、学校作りや地域の教育力を高める活動に努力していることを承知している。子どもの健やかな成長のため、続けていってほしい」と話された。

### 平成29年度長野県PTA連合会会長表彰受賞者

長野県PTA連合会では、本会の発展に貢献した方々を定期総会において表彰しています。本年度の受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

- |          |          |               |
|----------|----------|---------------|
| 小平美奈子(全) | 伊藤 秀樹(上) | 大久保羊三(安曇野市)   |
| 木内理枝子(全) | 宮下裕三子(上) | 中山 孝之(長野市)    |
| 上原 博信(上) | 福興 雅寿(上) | 志川 孝之(長野市)    |
| 石坂 修一(更) | 熊谷 弘(飯)  | 内山ゆかり(長野市)    |
| 中村 洋一(更) | 漆平 芳輝(木) | 久保田英雄(教師幹事)   |
| 金子 淳子(更) | 武居 竹生(木) | 野本 仁(教師幹事)    |
| 酒井 康行(更) | 清水 哲也(塩) | 宮本 勇(教師幹事)    |
| 向山 悟志(諏) | 倉田 ゆか(塩) | 宮本 広美(保護者幹事)  |
|          |          | 山本 典子(保護者幹事)  |
|          |          | 金子 郁子(編集部員)   |
|          |          | 赤塩 香(編集部員)    |
|          |          | 毛涯三三男(県PT事務局) |

### 受賞者の声

**茅野市立 玉川小学校PTA**  
読みやすく興味を持って、読んで役に立つ内容を心がけました。学校や地区委員の協力で記事が集まり、取材の中で地域に支えられていることを改めて実感しました。とても感謝しています。



表彰される玉川小PTA

### 第27回 長野県小・中学校PTA広報紙コンクール

今年度は、75校(小学校57校・中学校18校)の応募があり、審査の結果18校が入賞の栄に輝いた。

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <b>最優秀賞</b><br>長野県教育委員会賞<br>★茅野市立玉川小学校PTA | <b>優秀賞</b><br>信濃毎日新聞社賞<br>★飯田市立伊賀良小学校PTA | <b>優良賞</b><br>★松本市立旭町小学校PTA<br>★松本市立岡田小学校PTA<br>★長野市立湯谷小学校PTA<br>★長野市立徳間小学校PTA<br>★上田市立塩田中学校PTA<br>★松本市立筑摩野中学校PTA | <b>佳作</b><br>★佐久市立佐久平浅間小学校PTA<br>★松本市立山辺小学校PTA<br>★松本市立清水小学校PTA<br>★長野市立南都小学校PTA<br>★長野市立吉田小学校PTA<br>★豊丘村立豊丘中学校PTA<br>★松本市立旭町中学校PTA<br>★高山市立立山中学校PTA |
|---|--|---|--|

### 審査員の講評

- ◆学校・家庭・地域との連携を掲載することは、地域で子どもを育てる上で役立つと感じた。
- ◆学校新聞との役割の違いを考慮して、会員へPTAの理念や活動・情報などを発信しているものがたくさんあった。
- ◆子どもの活動、PTA活動の様子、地域のことなど幅広い内容を盛り込んでいる記事が増えた。親にとって現在の関心事を記事にしているものが見られて良い。
- ◆同じ紙面構成でも、カラーの方が印象が良い。色の選択にそれぞれのPTAの個性や雰囲気を感じた。

# 給食

## おいしい給食

子どもたちのために 公益財団法人 長野県学校給食会

〒381-0103 長野市若穂川田3800番地5  
TEL 026-282-6080 FAX 026-282-6535

### 平成29年度委員会活動

#### 総務



**原田 一泰 委員長**  
(全佐久 御代田南小)

学級PTA、学校PTA、郡市PTAの連携や役割について、その方向性を「信州モデル」として提案していきます。

- 小・中学生総合補償制度の推進
- ハンドブック「よりよいPTA」の企画
- PTA連合会組織の「信州モデル」の研究と対応協議
- 企業や行政に対するPTA活動への支援要請の仕組み検討
- 改正個人情報保護法全面施行に関する研究と対応協議

#### 広報



**齊藤 義則 委員長**  
(中高 野沢温泉中)

長野県PTA新聞や、ホームページ、フェイスブックを通して、学校・郡市PTAや専門委員会の取り組みを紹介し、PTA活動の支援となる情報を発信します。

- 長野県PTA新聞の編集と発行(年2回)
- ホームページ、フェイスブックなどによる情報発信
- 第28回長野県小・中学校PTA広報紙コンクールの企画と運営
- PTA会員へ情報や資料を波及する方策の研究と対応協議

#### 子育て



**黒岩 裕子 委員長**  
(上高井 高山小)

家庭と学校とのより良い関係が築かれるよう、先生と保護者が手を取り合い共に学びを深め、笑顔あふれる子育てが県内各地に広がるよう事業を進めます。

- 郡市PTA保護者代表者研修会(陽だまり懇談会・陽だまり研修会)の企画・運営
- 学級・家庭教育力向上に関する資料の提供(食育に関する研究と対応協議、学級懇談会の現状把握と事例展開)
- 第8回長野県三行詩コンクールの企画・運営

#### 活動支援



**小野 文久 委員長**  
(上伊那 箕輪中部小)

各単位PTA、郡市PTAの課題などを把握、共有化し、新役員研修会を主軸に、会員や役員に必要な知識・情報等をまとめ、更なる活動の向上に貢献していきます。

- 単位PTA新年度役員研修会の準備と運営
- 研究委嘱事業の補助と調整、次期研究委嘱PTAの選定
- 郡市PTAの財政状況に関する調査

#### 教育連携



**草間 由紀子 委員長**  
(松本市 清水中)

教育現場が抱えている問題や課題について、長野県教育委員会など教育関係機関との協議を経て見解や対応方針を示します。

- 16郡市PTA連携懇談会の準備と運営
- 教育課題の概要や対応方針の提示
- 長野県教育委員会との懇談会開催
- 「信州型コミュニティスクール」の完全導入に対する研究と対応協議

#### 安全互助



**千野 貴文 委員長**  
(顧問)

PTA安全互助制度により、PTA活動中の事故による被害を補償します。また、安全講習会を通じて、PTA活動中の怪我の予防や家族の健康増進を図ります。

- 保険会社との提携による傷害・賠償補償事業の推進
- 積立金を活用した見舞金給付事業の推進
- 各地区での安全講習会の開催

## 第8回長野県PTA三行詩コンクール

今年度の応募数は5968点。最終選考会において選ばれた優秀作品の中から3点を紹介します。(敬称略)

#### ★長野県PTA連合会長賞

こないでと  
言ったけれど  
母を探した 参観日  
小林 樹生 (緑ヶ丘中2年)

#### ★受賞者の声

「今日は来なくていいよ」と言ってくけど、本当は来てほしいという思いを書きました。家族も喜んでくれてとてもうれしかったです。

#### ★優秀賞

ねるまえに  
ママとはなせる しあわせじかん  
あしたもあんしん おやすみなさい  
坂本 菜摘 (筑摩小2年)

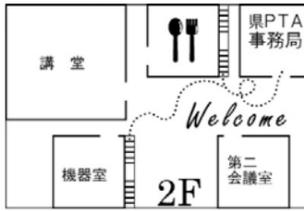
#### 講評

小学生は家族への感謝を素直に表現している。一方、中学生は素直に口に出せない自分を詠んだ作品が見受けられた。子どもは親や家族の姿をよく見ていることが伝わってきた。



県Pってなに？

正式名称は「長野県PTA連合会」です。各学校のPTAが単位PTA、それらが郡市ごとに集まったのが郡市PTAで、県下の郡市PTAの集まりが県PTA連合会になります。どこにあるの？長野市立図書館2階にあり。下の見取り図をご覧ください。事務局ではPTA会員の皆様に役立つ事務的な仕事をしています。講堂は定期総会や理事会で利用します。また、長野県教育委員会との懇談会、陽だまり懇談会・研修会もこちらで行います。



## 平成29年度 長野県PTA連合会役員名簿

会長	大島 修	(木曾)	加藤 雅洋	(教 師)	茨木 信行
副会長	(東) 原田 一泰	(塩 筑)	川崎 透	(教 師)	宮澤 志郎
	(南) 小野 文久	(安曇野市)	羽田野賢二	(教 師)	宮澤 真由美
	(中) 草間由紀子	(大 北)	小林 茂明	(教 師)	林 とよ美
	(北) 齊藤 義則	(松本市)	小笠原重光	(教 師)	小笠原 和子
	(母) 黒岩 裕子	(上高井)	湯本 幸一	(教 師)	湯本 好一
	(教) 北沢 浩美	(中水内)	齊藤 義則(兼)	(教 師)	宮澤 好一
専務理事	小山 修二	(飯水)	山口 正浩	(教 師)	町田 秀敏
監 事	(父) 坂井 良平	(長野市)	大矢 洋文	(教 師)	池田 純一
	(母) 小林 妙子	(東信母親)	湯本 英美	(保 護 者)	山崎 敏彦
	(教) 千野 貴文	(南信母親)	宮澤 久智子	(保 護 者)	岩崎 明美
顧問	(全) 佐久 昌利	(中信母親)	高木 厚子	(保 護 者)	竹腰 弘恵
理 事	(上) 小吉澤 勝雄	(北信母親)	上洞まなみ	(保 護 者)	柄澤みさき
	(更) 埴和田 豊秋		外谷麻紀子	(保 護 者)	小野みさき
	(諏) 伊藤 浩平		森 奈々	(保 護 者)	飯沼 範子
	(飯) 伊藤 文久			(保 護 者)	山田 明美
				(保 護 者)	山崎 由佳
				(保 護 者)	宮坂ゆかり
				(保 護 者)	橋本 郁子
				(保 護 者)	関 富志子
				(保 護 者)	宮本 信子
				(保 護 者)	和田みゆき
				(保 護 者)	伊藤 由佳
				(保 護 者)	小林 恵美子
				(保 護 者)	西澤 洋里
				(保 護 者)	井上 亜里
				(保 護 者)	滝澤 幸
				(保 護 者)	木内 京子

#### 新専務理事 着任の挨拶

6月1日よりお世話になることになりました。PTA活動は、我が子と一緒に人生を豊かに生きる貴重な体験です。その皆さん方が安心して楽しく活動ができますよう、安全互助会を通してしっかり支えて参りたいと思います。 小山 修二



僕たち! 私たち! がつくっています!

# 信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会  
信州 JA全農長野  
長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっぱ信州の牛乳でしょ 検索

# 伝統と絆を受け継いで



川上村

かわかみ

## 川上中学校

県の最東部に位置し、埼玉県・山梨県に接する川上村。レタス畑が続く中に、本年度創立50周年を迎える川上中学校がある。地元のカラマツをふんだんに用いた校舎で村の子どもたちが大切に育まれている。「感受性豊かに 思慮深く 実践する生徒に」の学校教育目標のもと113人が学び合う。

**和やかなPTA作業**  
川上中学校のPTAは地域の生活サイクルに合わせて活動を計画している。在籍している生徒の8割から9割がレタスを中心とした野菜を生産している家庭で、5月から11月頃は非常に忙しい毎日を送っているからだ。春には総務部・厚生部が中心となって、3年生とその保護者が校内の美化作業を行う。本年度は4月下旬に校内の窓拭き作業が行われた。毎年この春の作業は、夏場は忙しく、なかなか子どもや学校に関われない父親が積極的に参加するそうだ。

**安全を守る乗車指導**  
広い川上村各所から約

### 給食試食会&懇談会

冬には父親母親委員会が主催する給食試食会を行っている。校長先生も



カラマツの校舎でハイ、ポーズ

「生徒一人ひとりがバスの乗り降りの際、運動靴の裏のあいつがしっかりとできていた。また、乗車中のマナーもとてもよく、感心した。これからも川上中学校のよい伝統として引き継いでほしい」という保護者の感想があった。

### 取材を終えて

地域の人もPTAもずっと前から一体となっていて、子どもたちを見守り育てている。

### 編集後記

7月2日(日)に所属する市PTAの研究集会が開かれた。研究テーマは「心を育てるために」だ。今を育てるために、子どもを育てるために、59回を数える回が、100回を超えている。参加者が、中心となるレポートや各自が持つ巡ったレポートを、昔ながらのスタイルで、スタイルはレトロであって、地域がどのようか、PTAを支えているか、PTAとコミュニケーションが、子どもたちのために、内容が今日的だ。子どもたちのために、どのPTAも頑張っているのが分かる。更に、下のPTA組織や活動内容のPRも、それぞれのお互いの参考になる。このように、PTAが無ければ、他校のPTAの様子を知ることができない。PTAはつながりのつぎが、人と人との結びつきが、希薄になりつつある。だから、このつなぐ、大切にしたい。(Y・M)

### 取材を終えて

「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

### 取材を終えて

「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。



## 単位PTA訪問 No.88

# 郷土愛を育む

宮田村

みやだ

## 宮田小学校

中央アルプスの最高峰である木曽駒ヶ岳がそびえ、天竜川や太田切川が流れるなだらかな平野にある宮田小学校。宮田村で進めている「郷育」という理念のもと、学校目標「みんなが笑顔で帰宅 笑顔で登校できる学校」に向かって、558名の子どもたちが日々学んでいる。

**満腹ごはん**  
対談の中で、何度も使われていた「郷育」という言葉。故郷を知り、大事にし、再び故郷に戻ってきてもうための教育を指す。中でも郷土の食を知る「食育」に力を入れている。宮田村では学校給食にも地域の食材を極力取り入れている。村には「学校給食を育てる会」という組織があり、村内で採れた新鮮な食材が学校に届けられる。地域の方々も協力して、子どもたちに郷土食の大切さを伝えていく。



「おいしくできるかな〜」

「はみ出ているぞ!」と注意していた餃子の具包み。「お父さんもはみ出たができた。」参加者からは「息子にきでも週1回、少ないときでも月1回のあいさつ運動を行ってきた。PTAや地域の方々も協力して、子どもたちとハイタッチをしながら元気にあいさつをしている。当初は大人たちだけの活動だったが、今では児童会の子も一緒に活動し、あいさつ日本一を目指している。このあいさつ運動は、

**親子で学び合う**  
今年からPTA主催で

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

「はみ出ているぞ!」と注意していた餃子の具包み。「お父さんもはみ出たができた。」参加者からは「息子にきでも週1回、少ないときでも月1回のあいさつ運動を行ってきた。PTAや地域の方々も協力して、子どもたちとハイタッチをしながら元気にあいさつをしている。当初は大人たちだけの活動だったが、今では児童会の子も一緒に活動し、あいさつ日本一を目指している。このあいさつ運動は、

**元気にハイタッチ**  
宮田小学校では、多いときでも週1回、少ないときでも月1回のあいさつ運動を行ってきた。PTAや地域の方々も協力して、子どもたちとハイタッチをしながら元気にあいさつをしている。当初は大人たちだけの活動だったが、今では児童会の子も一緒に活動し、あいさつ日本一を目指している。このあいさつ運動は、

**親子で学び合う**  
今年からPTA主催で

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

**取材を終えて**  
「子どもと共に育つ」という清水PTA会長という言葉は、大人が一方的に押しつけるのではなく、大人も子どもも共に学び合うことを意味している。そのことが、宮田小学校の教育理念である「ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成」につながっているのだと感じた。

# 大切なお子さまのための保険です P T A 小・中学生総合補償制度

**ケガをした** 通院1日目から補償

**ケガをさせた** 友達に大ケガをさせてしまった

**病気で入院した** 日帰り入院から補償※H・Gプランのみ



○24時間いつでもどこでも補償します。  
○個別加入に比べて保険料は約52%割安です。(注)  
○保険料は年間3,000円からのプランをご用意しております。  
(注)上記の割引率(約52%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払い状況によっては、今後変更となる場合があります。

長野県PTA連合会が平成10年より導入している制度です。詳しい補償内容については、学校配布のパンフレットをご覧ください。詳しくは、小・中学生総合補償制度担当係までお問い合わせください。

元気すぎるから心配... そんな親心を支えます

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 お問い合わせ: 小・中学生総合補償制度担当係 電話: 026(234)2180

承認番号 B1722820A0754・20170721